



241

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2024年12月15日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

命を絶った兄妹 2人が生きた証し、記者が追う

15日(日)＝1、3面

迫る



多摩地域の湖畔で昨年9月、40代の兄妹が車中で亡くなっているのが見つかりました。心中とみら

れています。
この一報を受け取った警視庁担当の岩崎歩記者はその背景を知ろうと、関係者への取材を重ねます。引きこもりがちな兄、有名企業で働く妹。2人は戸建ての賃貸住宅に暮らしていて、記者は大家さんの許可を得て住宅に入ってみたところ、目に飛び込んできたのは散乱した家財道具の数々。持病の薬もそのままでした。
そこで記者は家族のアルバムを見つめます。七五三、海水浴、

幸せな家族の思い出が詰っていました。
でも、ある時期から写真はぷつぷつと途切れていました。その理由は何だろうか――。なぜ兄妹は命を絶ったのか。
知人、関係者への取材から、2人の生きた証しが次第に浮かび上がってきます。
決して明るい内容ではありません。でもこの師走にじっくり読んでもらいたいと思っています。

インティマシーコーディネーター(IC)とは

15日(日)＝総合面

近年、ドラマや映画に関わる仕事として、耳にするようになった「インティマシーコーディネーター(IC)」。2022年の「新語・流行語大賞」の候補に入るなど認知度が高まっています。性的なシーンがある作品

で俳優と監督の間に入り、両者が合意の上で撮影できるようにサポートするスタッフです。実際にどんな仕事なのか、ICの西山ももこさん＝写真＝に取材するなどして課題を含めて探りました。



新型コロナウイルス感染症の5類に移行して1年半以上が過ぎました。しかし、今も多くの病院や高齢者施設などで「面会制限」が残ります。「15分間」「家族

新型コロナが感染症の5類に移行して1年半以上が過ぎました。しかし、今も多くの病院や高齢者施設などで「面会制限」が残ります。「15分間」「家族

のみ2人まで」「子どもは禁止」「……。感染予防と入院患者のQOL（生活の質）は、いかにバランスを取るべきか。いつまで「面会制限」は続くのでしょうか。

論点

病院や施設の「面会制限」

18日(水)＝オピニオン面

特集ワイド 上野千鶴子さんに聞く この国は変わるのか？

16日(月)＝夕刊2面



性暴力を告発する「#MeToo」運動などジェンダーを巡る社会運動が活発です。しかし、男女の賃金格差は改善せず、凝り固まった性差別はなくなりません。この国はいつになっ

たら根本から変わるのでしょうか。女性学・ジェンダー研究のパイオニア、社会学者の上野千鶴子さん(76)＝写真＝に尋ねました。

自分が体調を崩したら、飼っている犬はどうなるのだろうか？ ペットの寿命と自身の健康問題は切っても切れない。毎日新聞社の「生活の窓口」は22日、「病気になるって考えるペットの話」を東京・竹橋で開催します。いざという時のための対策となるペット信託の仕組みと里親制度について詳しく解説いたします。ペットの将来に不安を抱えている方は是非ご参加ください。(小林知史)



毎日新聞